

令和6年度 理学部学校推薦型選抜試験 小論文 出題の意図

「出題について」

理科に関する課題を6題用意している。課題ⅠおよびⅡは物理、課題ⅢおよびⅣは化学、課題ⅤおよびⅥは生物の分野の内容を主とした課題で、受験生はこれら6題より2題選択して、それぞれ400字以内で小論文として仕上げるものである。

「出題の意図」

理学部では、調査書と推薦書によって高等学校での学習の達成度を、面接での口頭試問により適性と意欲を、そして小論文にて理学部に適性があるかどうかを評価する。

小論文においては、自然の物事を論理的に扱う数学、理科などの基礎学力を備え、R6年度選抜試験では下記の理科（物理・化学・生物）の内容の課題全6題から2題を選択して、その課題の意図するところを指定された字数にて正確に正しい日本語にて表現、記述できるかを問うている。

物理：合力および力のつりあいと浮力への応用について（課題Ⅰ）、磁場の成分分離とローレンツ力の基本概念（課題Ⅱ）について正しく理解し説明できるかを問う。

化学：錯イオンの形や性質、反応について（課題Ⅲ）、結晶における結合や相互作用、結晶の構造と性質（課題Ⅵ）について正しく理解し記述できるかを問う。

生物：細胞の生命活動を支える生体膜について（課題 V）、遺伝子の発現とそのバイオテクノロジーへの応用（課題 VI）について正しく理解し表記できるかを問う。